

「山内かぶらちゃんの会」

代表 飛永 悦子

平成 23 年に結成。若狭町山内地区の地元 12 名で構成される団体。伝統野菜「山内かぶら」の栽培やその加工品の製造・販売を行っており、令和 4 年にはレストラン「いっぷく処かぶらちゃん」をオープンさせた。これまでの取り組みが認められ、令和 5 年には「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第 10 回選定）に選定（ビジネス・イノベーション部門）されるとともに、有識者懇談会委員による特別賞を受賞した。

HP：[ディスカバー農山漁村\(むら\)の宝アワード \(discovermuranotakara.com\)](http://discovermuranotakara.com)

伝統野菜「山内かぶら」

ひげ根が多く、葉は長くしっかりしており、煮崩れしにくく風味が濃い特徴がある。明治年代より栽培されていたと推察されており、2016 年には国が地域の農林水産物の名称を知的財産として保護する「地理的表示（GI）認証保護制度」に登録された。